

農村整備事業

まず「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業」として、平成十九年度採択となりました金川地区について、本年度より圃場整備工事に着手します。

平成二十年度採択予定の奥出雲地区県営中山間地域総合整備事業については、各工種の測量設計並びに有害鳥獣防護柵の設置、防火水槽二基を計画しており、今後とも地元調整を図って参ります。

その他、県営治山事業として上阿井で二地区、大馬木の大峠が継続実施され、新規としては宇根地区が実施予定です。

また、地すべり対策事業として仁多地区第二期と農道環境整備事業として大仁農道の改修が継続実施されます。

情報基盤の整備

平成十七年度より着手しましたケーブルテレビ整備事業は町内全戸に光ケーブルを引き込むFTH網として、既に完成し、放送を開始しておりますが、四月からは全国に先駆けて自主放送をデジタル

方式で放送する予定です。全国でも最先端の高度な情報基盤整備であることから、四月より総務省情報通信政策局より一名町に出向していただきテレビ電話の導入など情報化社会に対応した様々な方策を進める考えです。

携帯電話の不感地域の解消については、各通信事業者に強力に要請を行っており、各通信事業者では、次世代携帯機器に対応した通話エリアの拡大のための施設改修が行われています。

平成二十年度においては、阿井地区真地地域に町が鉄塔を建設し、通信事業者に貸与する方法でエリアの拡大が図られます。

これにより国道沿線については、ほぼすべてで不感地域が解消します。携帯電話の通信事業者に対しては引き続き要請を行い通話エリアの拡大に努めます。

安全で快適な町づくり

消防行政

消防団は、消火・防災はもとより地域の安全確保に大きな役割を果たし、地域社会が

ら期待が寄せられており、今年度も引き続き予防消防の啓発に努め、町民の皆さんが安心して暮らせる町づくりに努めて参ります。

消防施設の整備については、有利な起債を活用し、三成分団へ最新鋭のポンプ自動車の導入を計画しております。

また、本年の県消防操法大会は、出雲市で開催される予定で、阿井分団が「ポンプ車の部」、八川分団が「小型ポンプの部」に出場することとなっており、昨年に引き続き優勝獲得を期待しているところです。

水道事業

簡易水道事業については、平成十九年度から施行しております大馬木簡易水道と大峠及び上連飲料水供給施設の統合事業を引き続き行い、平成二十年度完了を予定しています。

また、平成二十年度に雨川簡易水道の事業認可を申請し、平成二十一年度からの改良工事を計画しており、今後、施設の老朽化、水量不足が生じております施設は、長期計画により順次整備を行う予定です。

です。

次に、公共下水道事業については、横田地区大市、稲田原口の管路工事を引き続き施工します。

また、農業集落排水事業については、馬木地区大馬木処理区の管路工事の建設を引き続き行い、平成二十年度には事業完了を予定しています。平成十九年度に大馬木処理区の汚水処理場が完成したことに伴い、今年六月より部分供用を開始する予定です。

集合処理区域外の地域については、浄化槽市町村整備推進事業により町が合併浄化槽を設置し、設置後も町管理とする施策を継続して実施することとしており、今年度は七十基を予定しています。

なお、簡易水道使用料については、平成十九年度に料金を統一しましたが、下水道料金については、現在、下水道使用料審議会において、慎重な審議をいただいているところであり、平成二十年度中には統一する予定です。

公営住宅

平成十八年度から五力年計画で国の地域住宅交付金事業

を導入し、住環境の整備を推進しています。

これまでは、住宅の耐震診断や三成滝の上第二団地、横田大市西団地五十六戸の下水道接続、宅内水回り環境の整備、バリアフリー改修工事を行ったほか、若者向けの定住促進を図るため世帯向け・単身用公社賃貸住宅三棟十六戸を建設しました。

また十九年度からは、三力年計画で滝の上町営住宅第一団地建替え一期工事二棟十二戸の建設に着手しました。本年は引き続き滝の上町営住宅の建替え二期工事一棟十二戸の建設を予定しています。

資源の再利用、削減

昨年四月から不燃ごみの分別収集方法を変更し、ごみの減量と再利用を進めているところですが、これにより埋め立て最終処分場のごみ搬入量が減少し、またペットボトル、プラスチック類の再利用が進むなど、町民の皆様のご協力により処理量の削減が大きな成果となっております。

今後も引き続き減量化と資源ごみの有効活用を図るための諸施策を実施して参ります。